



アドビ株式会社
141-0032 品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー

アドビ、2021 年第 1 四半期の業績を発表

Creative Cloud、Document Cloud、Experience Cloud の 各分野で過去最高の収益を記録、年度財務目標を上方修正

※米国本社発表の業績プレスリリースは[こちら](#)をご覧ください。

【2021 年 3 月 24 日】

米国カリフォルニア州サンノゼ発（2021 年 3 月 23 日）：Adobe（Nasdaq：ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ）は本日、2021 年度第 1 四半期（2021 年 3 月 5 日を末日とする）の決算を発表しました。

■ 2021 年度第 1 四半期の業績ハイライト

- 2021 年度第 1 四半期の収益は過去最高となる 39 億 1,000 万ドル、前年同期比 26%増となりました。GAAP ベース希薄化後 1 株当たり利益（EPS）は、2.61 ドルで前年同期比 33%増、Non-GAAP ベース希薄化後 1 株当たり利益（EPS）は、3.14 ドルで前年同期比 38%増でした。
- デジタルメディア分野の収益は 28 億 6,000 万ドル、前年同期比 32%増。うちクリエイティブ分野の収益は 23 億 8,000 万ドルに拡大、前年同期比 31%増。Document Cloud の収益は 4 億 8,000 万ドルで前年同期比 37%増。
- デジタルメディア分野の年間経常収益（Annualized Recurring Revenue - ARR）は当四半期末時点で 106 億 9,000 万ドルに拡大し、前四半期比 4 億 3,500 万ドルの増加。クリエイティブ分野および Document Cloud の ARR は、それぞれ 91 億 2,000 万ドル、15 億 7,000 万ドルに拡大。
- デジタルエクスペリエンス分野の収益は 9 億 3,400 万ドル、前年同期比 24%増。デジタルエクスペリエンス分野のサブスクリプション収益は 8 億 1,200 万ドル、前年同期比 27%増。
- 第 1 四半期の GAAP ベース営業利益は 14 億 5,000 万ドル、non-GAAP ベース営業利益は 18 億 3,000 万ドル。GAAP ベース純利益は 12 億 6,000 万ドル、non-GAAP ベース純利益は 15 億 2,000 万ドル。
- 営業キャッシュフローは 17 億 7,000 万ドル。
- 残存履行義務（Remaining Performance Obligation - RPO）は 116 億 1,000 万ドル、前年同期比 17%増。

- 当四半期中に約 190 万株を買い戻しました。

当社は 52 週／53 週の財務カレンダーを採用しており、2020 年度が 52 週年度だったのに対して 2021 年度は 53 周年年度であったため、2021 年度第 1 四半期の業績は 1 週分有利となっています。

GAAP 業績と Non-GAAP 業績の対応については、[プレスリリース（英語版）](#) 末尾とアドビの Web サイトで説明します。

■ 役員のコメント

アドビの会長、社長兼 CEO（最高経営責任者）であるシャントヌ ナラヤン（Shantanu Narayan）は次のように述べています。

「第 1 四半期は過去最高の業績を達成しただけでなく、すべての事業分野で大きなチャンスがあり、グローバル全体で堅調が予想されるため、年度財務目標を上方修正することにしました。当社の Creative Cloud、Document Cloud、Experience Cloud は、全世界の学生や個人、大企業にいたるまで、すべての顧客セグメントにとって極めて重要な存在となっています。」

アドビのエグゼクティブ バイス プレジデント兼 CFO であるジョン マーフィー（John Murphy）は、次のように述べています。

「第 1 四半期は堅調に推移し、収益と利益の拡大を加速することができました。アドビは強固なキャッシュフローとマージンを持っており、売上、利益ともに拡大できる比類ない能力を備えています。」

■ 2021 年度第 2 四半期の財務目標

次の表はアドビの 2021 年度第 2 四半期の財務目標を要約したものです。

2021 会計年度第 2 四半期収益合計	最大 37 億 2,000 万ドル	
デジタルメディア分野の収益	前年同期比最大 21% 増	
デジタルメディア分野の純 ARR（年間経常収益）	純 ARR で最大 4 億 5,000 万ドル	
デジタルエクスペリエンス分野の収益	前年同期比最大 18% 増	
デジタルエクスペリエンス分野のサブスクリプション収益	前年同期比最大 20% 増	
税率	GAAP: 最大 19.5%	Non-GAAP: 最大 16%
株式数	最大 4 億 8,200 万株	
1 株当たり利益（EPS）	GAAP: 最大\$2.09	Non-GAAP: 最大\$2.81

■ 2021年度の財務目標を上方修正

アドビは本日、第1四半期の好調な業績、および第2四半期の予想に織り込まれた事業の勢いを考慮し、2021年度の財務目標を上方修正します。

次の表はアドビの2021年度の財務目標を要約したものです。

2021 会計年度収益合計	最大 154 億 5,000 万ドル	
デジタルメディア分野の収益	前年比最大 22% 増	
デジタルメディア分野の純 ARR（年間経常収益）	純 ARR で最大 18 億ドル	
デジタルエクスペリエンス分野の収益	前年比最大 20% 増	
デジタルエクスペリエンス分野のサブスクリプション収益	前年比最大 23% 増	
税率	GAAP: 最大 17.5%	Non-GAAP: 最大 16%
株式数	最大 4 億 8,100 万株	
1株当たり利益（EPS）	GAAP: 最大\$9.13	Non-GAAP: 最大\$11.85

GAAP 財務目標と Non-GAAP 財務目標の対応については、[プレスリリース（英語版）](#) 末尾で説明します。

■ 将来的観測の開示（Forward-Looking Statements Disclosure）について

本プレスリリースは、実際の業績を大幅に異ならせる可能性があるリスクおよび不確実性を内包した、事業の勢い、Workfront の買収の財務的影響、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大が事業および業績に与える影響、市場機会、市場動向、マクロ経済環境の状況、顧客の成功、収益、営業利益、季節変動、年間経常収益（ARR）、GAAP ベースおよび non-GAAP ベースの課税率、GAAP ベースおよび non-GAAP ベースの1株当たり利益、株式数に関連する将来的観測を含みます。実際の業績を異ならせ得る原因としては、以下が挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- 競争において成果をあげることの失敗
- 顧客の必要に応える製品およびサービスの開発、獲得、市場投入、提供の失敗
- 新技術の導入
- 情報セキュリティおよびプライバシー
- アドビまたは第三者によって提供されるホステッド サービスに障害または遅延が生じる可能性
- マクロ経済の状況および新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大が経済に与える影響

- サイバー攻撃に関連するリスク
- 複雑な販売サイクル
- 当社のサブスクリプションサービスによる収益の認識タイミングに関連するリスク
- サブスクリプションサービスの更新比率の変動
- 過去および将来の買収において見込まれた利益達成の失敗
- 第三者との重要な戦略的取引関係における成果達成の失敗
- 会計原則および税規則の変更
- 当社が事業を行っている国々における金融市場および経済情勢の不確実性
- 多国籍企業におけるその他のさまざまなリスク

これらおよびその他のリスクと不確実性についての解説に関しては、2020年11月27日を末日とする2020会計年度のアドビの年次報告書（Form 10-K）、および2021年度に発行されたアドビの四半期報告書（Form 10-Q）をご参照ください。

本プレスリリースに記載された財務情報は、現時点で得られる情報に基づいた推定を反映したものです。これらの数値は、2021年3月5日を末日とする四半期についてアドビが2021年3月末から4月初めに提出予定の四半期報告書（Form 10-Q）に記載される実際の業績数値とは異なる場合があります。アドビはこれら将来的観測について情報更新の義務を負わず、当面は更新の意図もありません。

■ 「アドビ」について

アドビは、世界を変えるデジタル体験を提供します。このアドビのビジョンは3つのクラウドサービスで支えられています。[Creative Cloud](#)は、写真、デザイン、ビデオ、web、UXなどのための20以上のデスクトップアプリやモバイルアプリ、サービスを提供しています。[Document Cloud](#)では、デジタル文書の作成、編集、共有、スキャン、署名が簡単にでき、デバイスに関わらず文書のやり取りと共同作業が安全に行えます。[Experience Cloud](#)は、コンテンツ管理、パーソナライゼーション、データ分析、コマースに対し、顧客ロイヤルティおよび企業の長期的な成功を推進する優れた顧客体験の提供を支援しています。これら製品、サービスの多くで、アドビの人工知能（AI）と機械学習のプラットフォームである[Adobe Sensei](#)を活用しています。

アドビ株式会社は米 Adobe Inc.の日本法人です。

アドビに関する詳細な情報は、web サイト (<https://www.adobe.com/jp/>) に掲載されています。